

# 野菜づくり

9月1・8・15日(木)



# 花の講座

9月2日(金)



# 環境講座

9月22日(木)

環境園芸学科 2022. 9月

9月から秋冬野菜の栽培を学びます。

1日、早速白菜、キャベツ、ししとう、ジャガイモを植えました。大根の種も巻きました。

8日は、小雨の降る中レタスの種を蒔きました。ほ場作業は早めに切り上げ、今までの復習テストで野菜づくりを振り返りました。

15日は、収穫、整枝、追肥、土寄せ、草取りなどの管理作業を行いました。



・野菜の収穫は、いつも楽しい。ジャガイモは初めてで、芽掻きをすることは知らなかったです。キャベツ、白菜は浅植、ブロッコリーは少し深くてもいい、勉強になりました。

・レタスの種蒔きにペーパーパックを利用。水でこねた種蒔土はパックにしっかりと詰めるため、けっこう力が必要。撒き残しがないように、一粒ずつ慎重に種蒔。発芽にはこういった丁寧な作業が大事。

・白菜、キャベツなどの苗の成長を目の前にして、育っていることを実感できた。追肥や除草、みんなと協力して作業することが楽しかった。

・白菜、キャベツ、ブロッコリーの成長に驚いています。特に白菜は短時間にここまで大きくなって感動です。9月も後半に入って来たのに、夏野菜の収穫量スゴイです。お疲れさまと声を掛けたくりました。

(学生)



花のボランティア「花の輪西山」の皆さんから“ハンギングバスケット”の作り方を習いました。出来上がったものは、豊田市駅ペデストリアンデッキに飾っていただきました。



・6種類30本の花苗、3段使いでの大きなハンギングバスケットでびっくりしました。重量感あるものに仕上がりに、飾られるときの姿が楽しみです。

・ペデストリアンデッキを飾るハンギングバスケットを作った。これほど大きなバスケットを作るのは初めてで、とても楽しかったです。水苔の使い方やポットから出すときに根の払いや肩の土払い、病害虫の付きやすいところなど知ることが出来た。

・花の講座、楽しかったです。花の輪西山の方々の指導も適切で、素敵なハンギングバスケットが出来ました。市民の皆さんに見て頂けるのを、とてもワクワクしています。

・ハンギングバスケットを初めて手にしました。楽しくて、アツという時間でした。また講座があれば参加してみたいです。

(学生)



(資)野田味噌商店の社長さんから、日本の伝統食品“味噌”づくりを通して「発酵食品」について勉強させて頂きました。



味噌はつらない。育てるもの。味噌を育てることは人を育てること。ゆっくり時間をかけ「ひとねる」

・味噌玉はおいしかった。これで味噌を作れば、美味しいのは間違いない！と思った。味噌も人も同じで、育てるのだと思った。

・社長のお話、味噌づくりに一生をかけるパワーを感じた。話の中での「もやいこ」「ペイフォワード」は今日のキーワードであり、良い言葉だと考えさせられると同時に、自身の課題であると感じた。

・”日本再発見”味噌づくりの蔵元見学で、知らない世界をのぞいてみる事が出来ました。改めて、手間をかけて作られる味噌を日々の生活の中で大切に味わっていく必要があると感じました。

・社長さんの熱いお話を楽しく感銘を受けながら聞くことが出来ました。最後のメッセージ「もやいこ(上手に分け合う)」は、SDGsのキーワードだと思います。

(学生)



10月のほ場では、さつまいもの収穫や、法蓮草の種蒔き、夏野菜の片付けなどを行います。花の講座では、多肉植物について勉強します。